



平成29年度

第4号

高岡市立中田小学校

学校だより

あしつき

平成29年10月12日発行

発行責任者 森田英宏

## 学習発表会間近……「全校合唱」と「ふるさと教育」

校長 森田 英宏

2学期は、様々な行事があり、子供たちにとってはいろいろな経験を通して大切な力を付けていく学期です。中でも学習発表会は、保護者の皆さんと力を合わせて行う大きな行事であり、どの学年の子供たちにとっても重要な成長の機会です。現在、それぞれの学年が学習発表会に向けてステージ発表の練習や展示作品の制作に取り組んでいます。

学習発表会午後のプログラムは、毎年「全校合唱」から始まります。年間を通して全校で取り組んでいる音楽活動の発表の機会となっており、学年を追うごとに積み重ねられて行く、子供一人一人の成長を実感することができます。

「**全校合唱はいつから始まったのだろう**」……昭和63年、本校は2年間の音楽科研究指定を受けました。当時の先生方はいろいろな音楽活動を通して「豊かな表現力」を育てようとしていました。その一つが全校合唱でした。以来30年、全校合唱は続いてきました。

耳を澄ませたなら 川の清き音……  
 茜色の夕暮れ 互山の姿……  
 黄金色の稲穂 星が降りそそいでいる……

ペア学年  
 (1年生と6年生)での  
 合唱練習の一コマ



これは、平成24年に発表された県民愛唱歌「ふるさとの空」の一節です。本校では、発表された年からこの曲を全校合唱の題材としています。全校音楽の担当者は、美しい旋律と歌われる風景に四季折々の本校が重なると言います。また、全校合唱の魅力を「300人近くの歌声が一つになって響き渡ること。下学年には少々背伸びが要る難曲も、上級生と歌うことで歌唱力が付くこと。小さな学年のうちから仲間とハーモニーを創り上げる喜びを感じられること。」と教えてくれました。朝の会や全校集会で練習の機会を設け、9月7日の「統合を祝う会」に全校で歌っています。昨年は、5年生(現6年生)が中田の文化祭で歌う機会をいただきました。今年は、学習発表会の全校合唱で歌うことになっています。本校の子供たちは歌うことが好きです。純朴で温かい校風に結び付いていると思います。中田小学校が、大切に続けていきたい活動の一つです。

「**あなたが、中田について自慢できることは何ですか**」統合を祝う会で全校児童に投げかけました。「ホタル」「トミヨ」……子供たちは、思いついたことを返してくれました。本校は、環境学習やかかし祭りへの取組等、地域と関わる活動を「ふるさと教育」として重視し、地域の方々のお力を借りながら「ふるさと教育」に取り組んでいます。

中田の魅力は、「豊かな自然」と「独自の歴史的歩みによって培われてきた文化」、そしてこの環境の中に育まれる「人の心の豊かさ温かさ」だと感じています。子供たちが、郷土の魅力を自覚し、郷土を誇りに思うことは、立派な社会人になるために必要なことだと思います。「ふるさと教育」は、本校が地域に根ざした学校として、地域の方々のご理解とご協力の下、これからも積極的に取り組むべき大切なことだと考えます。どうぞよろしく願いいたします。

今日も、校長室には体育館で練習している子供たちの歌声が聞こえてきます。

学習発表会での子供たちの姿を思い描き、子供たちの澄んだ歌声が、郷土への思いを深めながら受け継がれていくことを願います。